

赤十字シンポジウム 2014



人間を救うのは、人間だ。Our world. Your move.



日本赤十字社
Japanese Red Cross Society

危機に
立つ
人道支援
～今、中東では～

Red Cross Symposium 2014

報告書

赤十字シンポジウム 2014

危機に
立つ
人道支援
～今、中東では～

日 時

2014年11月8日(土)

開場/14:00 開演/14:30 終了/16:30

会 場

表参道ヒルズ スペース オー

東京都渋谷区神宮前4-12-10 (表参道ヒルズ本館地下3階)

主 催



NHK

後 援

外務省、厚生労働省、NHK厚生文化事業団

協 力

赤十字国際委員会(ICRC)、(社)日本看護協会、商店街振興組合原宿表参道櫺会

放送日時

2014年11月29日(土)

NHK Eテレ「TVシンポジウム」(14:00～14:59)

この報告書は、2014年11月8日(土)に行われた「赤十字シンポジウム2014」の議論をまとめたものです。

Red Cross Symposium 2014



今回の赤十字シンポジウムでは、内戦による深刻な情勢が続くシリアと

その周辺国で展開される人道支援の現状に焦点を当てます。

紛争の発生からすでに3年以上が経過しているシリアでは、

国連の統計によると死者は約19万人、国内外の避難民は1,000万人にものぼり、

第二次大戦後最大の人道危機と言われます。

出口の見えない内戦による犠牲者は増え続けており、子どもや女性を含む一般市民に加えて、

人道支援や報道に従事する人々も多数犠牲になってきました。

シリアでは、これまで45名の赤十字のボランティアが救援活動中に命を落としています。

このシンポジウムでは、中東情勢の背景と現状に対する理解を深めるとともに、

危機に立つ人道支援の今後と、日本に暮らす私たちの関わり方について考えていきます。

Red Cross Symposium 2014



出演者プロフィール PROFILE



池上 彰 Ikegami Akira

コーディネーター Coordinator

ジャーナリスト

1950年生まれ。慶応義塾大学経済学部卒業後、NHK入局。松江放送局、広島放送局呉通信部を経て、東京の報道局社会部、警視庁、気象庁、文部省、宮内庁などを担当。社会部記者として経験を積んだ後、報道局記者主幹。1994年4月から11年間「週刊こどもニュース」のお父さん役として、様々なニュースを解説。2005年3月NHKを退局後、フリージャーナリストとして、テレビ、新聞、雑誌、書籍など幅広いメディアで活躍中。2012年4月より、東京工業大学リベラルアーツセンター教授。著書：『伝える力』(PHPビジネス新書)、『知らない恥をかく世界の大大問題』(角川SSC新書)、『そうだったのか！現代史』(集英社)など多数



小尾 尚子 Obi Naoko

パネリスト Panelist

国連難民高等弁務官事務所 (UNHCR) 駐日事務所 副代表 (法務担当)

国際基督教大学 行政学研究科 (国際法・国際機構論) 博士号、ウィンザー大学 国際政治学科修士号。1987年より国際連合難民高等弁務官事務所 (UNHCR) にて活動。ケニア事務所 (アソシエーター・ガールオフィサー)、フィリピン事務所 (難民認定審査官)、タイ地域事務所 (上級地域法務官)、およびジュネーブ本部 (アジア及びヨーロッパの上級地域法務官、上級政策オフィサー、国際保護局コミュニティ開発、女性、子どもの保護、ジェンダーの平等担当課長など) を経て現職。その他国連国際防災戦略事務局ジュネーブ本部 (シニアアドバイザー) (2003~2004年) でも活動。



ヤマザキ マリ Yamazaki Mari

パネリスト Panelist

漫画家

漫画家・文筆家。1967年東京生まれ。1984年に渡伊、フィレンツェの国立アカデミア美術学院に入学。美術史・油絵を専攻。1997年に漫画家としてデビュー。その後シリア、ポルトガル、アメリカを経て現在はイタリア在住。2010年古代ローマを舞台にした漫画「テルマエ・ロマエ」で第2回漫画大賞受賞、第14回手塚治虫文化賞短編賞受賞 世界8カ国語に翻訳される。著書に『モーレッツ！イタリア家族』『ルミとマヤとその周辺』『望遠ニッポン見聞録』等多数。『世界の果てでも漫画描き エジプト・シリア編』『アラビヤ猫のゴルム』等シリアでの生活を記録した作品もある。現在は『スティーブ・ジョブズ』(W・アイザックソン原作)、『プリニウス』(とり・みきと共著) を連載中。



出川 展恒 Degawa Nobuhisa

パネリスト Panelist

NHK 解説委員

1962年、東京生まれ。1985年、東京大学教養学部教養学科国際関係論分科を卒業後、NHK入局。佐賀放送局記者を経て、1990年から国際報道 (主に中東、イスラム世界) に携わる。1991~92年、テヘラン駐在。1992~93年、旧ソビエト連邦・中央アジア独立国家を長期取材。1994~98年、エルサレム支局長 (NHK初代特派員)。2002~06年、カイロ支局長 (バグダッド事務所兼務)。2006年7月~現在、解説委員 (中東・アフリカ・イスラム地域担当)。中東和平プロセス、同時多発テロ事件、イラク戦争などを、NHK特派員として現地から報道。



粉川 直樹 Kokawa Naoki

パネリスト Panelist

日本赤十字社事業局国際部国際支援統括監

1952年生まれ。国際基督教大学教養学部卒。1979年、タイ国境におけるカンボジア難民以来、35年間一貫して赤十字の国際救援に携わる。ソマリア (81~82)、ネパール (83~89)、スリランカ (89~91)、エチオピア (91~93) での現場における難民支援や開発活動を経て、ジュネーブの国際赤十字・赤新月社連盟本部で中近東担当デスク (93~97)。その後、東京をベースに世界各地に勃発する自然災害や紛争に対する国際救援に従事。その間、インドネシアでスマトラ津波の復興支援 (05~06)、マレーシアにて連盟アジア太平洋地域災害部長 (06~08) などを経て、今日に至る。東日本大震災では、国際社会から寄せられた1000億円の救援金に対するドナー対応等に当たり、現在、日本赤十字社の国際支援全般を統括している。

赤十字シンポジウム 2014

contents

オープニング

この文章はダミーです。

この文章はダミーです。

この文章はダミーです。

この文章はダミーです。

この文章はダミーです。

Red Cross Symposium 2014

発行日 2015年2月
発行元 日本赤十字社
Email:kokusai@jrc.or.jp